



## いろいろな原料から「紙」



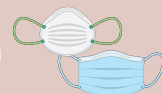
日本ではふだん当たり前に、いくらでも容易に手に入る紙ですが、世界にはまだまだ紙が貴重で手に入りにくい国や地域があります。そして紙といえば原料は木材から作ったパルプと思いがちですが、その他にも楮や三桠みつたなどから作られる日本の和紙のように、様々な植物繊維などを原料にして作られる紙もあります。

スリランカには、体の不自由な象や親のいない小象が保護されている“象の孤児院”があり、その象のウンチを隣接する工場で紙の原料として利用しているそうです。繊維

質の多い物を食べる象のウンチは理想的な原料となり、なおかつ民家に入り込むなどのトラブルを起こす象と人間が共存するための発想から生まれた仕組みだそうです。

また、ザンビアではオーガニックのバナナの収穫時に捨ててしまうバナナの茎を利用して作られるバナナペーパーがあります。

他にも食品加工時に排出される廃棄物の一部を紙に漉きこみ、廃棄物の有効利用を図ったシリアル繊維混抄紙など、紙づくりにはいろいろな原材料が利用されています。



## マスクの柄や色で印象が変わります



マスクが生活必需品になりつつある今、いろいろな柄や色のマスクが登場しています。定番の白、若者に人気の黒、グレーや青、ピンクなど文字通りいろいろあるので、皆さんの趣味や趣向に合ったマスクを選ぶことで、なにかとストレスの多いwithコロナ、afterコロナの中、気分転換を図ってはいかがでしょうか。たとえば、黒色のマスクには小顔効果がありますが、若い女性向け雑誌の調査によれば、デートの

相手に着けてきて欲しくないカラーの第1位だそうです、TPOには注意したいものです。

ビジネスシーンなどでは無難な白やグレーなどを着用し、家やプライベートでは少しオシャレなマスクを楽しんでみるのはいかがでしょうか。ただしカラーマスクは、不織布に比べ感染防止の効果が劣るウレタン製などが多いので、素材の確認を行いましょ。

## 『紙』のひとり言

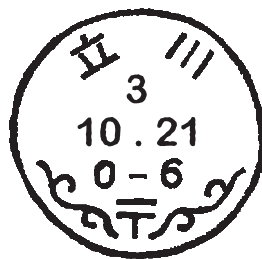


「紙」の始まりについては様々な説がある。古代エジプトの「パピルス」説、紀元前150年頃の中国「放馬灘紙」説、日本では6世紀に現在の福井県で始まった紙漉きはうぼたんし(現在の「越前和紙」)説、しかしどれも確証はない。まあそれはさておき、ここでは紙の良さを改めて知っていただくようなつづきを書かせていただこうと思う。

コロナ禍が始まって以来、人や物の動きが減り印刷物を手に取ることが激減した。ただでさえ“ペーパーレス化”

で紙離れが進んでいるところに、ダブルパンチを食らってしまった。

しかし悪いことばかりでもない。いわゆる“おうち時間”が増えたことで、活字離れで本から遠ざかっていた読書家が増えてきたのだ。1ページ1ページ、紙の温もりを手に感じながら、読書をする人がもっと増えてくれることを期待するばかりである。



紀州上質紙N  
46判 70kg  
を使用しています。



発行/株式会社 立川紙業 〒190-0022 立川市錦町4-5-26 / TEL: 042-527-6111(代)  
FAX: 042-528-0080 / HP: www.kami.jp / MAIL: tp@kami.jp



## 子どもの声



小川 紀子

ときどきテレビや新聞のニュースで伝えられる“乳幼児虐待”を見聞きするたび、無性にブルーいやそれ以上の気持ちになってしまいます。虐待を受けたその子どもたちの気持ちを考えると、おだやかではられません。TP通信をご覧の皆さんはどんな感想をお持ちになりますか。おそらく、パパやママとして或いはおじいちゃんおばあちゃんとして、それぞれの立場で同じことを考えると思います。

幼児教育の専門家の方は、次々と表面化するこの乳幼児虐待について、「子どもの声をきちんと聞かない親が増えていることが、悲惨な事件の一因になっている」と、警鐘を鳴らしています。世の中のIT化、スマートフォンの普及、SNSを利用したコミュニケーションの常識化などにより、従来の育児・子育て環境は大きく変化していると分析しています。

一つの例として、今までは、なかなか泣き止まない子どもに対して、「あやす」「抱っこする」というごく普通の対応だったことが、最近では

YouTubeで“子どもが泣き止む音楽”を検索して聴かせるなどこれまでは考えられなかったことが、今や珍しいことではなくなっています。ひと昔前なら、子どもが言葉を話せる如何にかかわらずまず、なぜ泣いているのか、何を訴えているのかを感じとろうとすることが常識でしたが、その時間をスマートフォンで泣き止む音楽や方法の検索に懸命になるのは、本来の親の姿ではないのではないのでしょうか。

様々な社会情勢の変化により、仕事と育児を両立する家庭が増えている時代ですが、育児・子育ての基本ともいえる「子どもの声を聞く」ということが、あまりにもおろそかになっていることを、子どもを持つ親だけではなく、広く社会全体の大人が共有するべきで、忘れてはならないことだと思います。少子化の時代ではありますが、これまで以上に子どもの声に耳を傾けていきたいと思っています。

(弊社営業2課員)

# 業界の動き

## 時代のニーズを反映する 製紙関連企業の開発費

大小を問わず企業は市場のニーズや業績にあわせ、次の一手を考え、前に進む。製品開発や設備への投資なしでは企業は成長しえないというのが世の常である。近年業界を取り巻く環境が激変しつつある紙関連業界では、それはなおさらのことだ。

製紙関連企業の2020年度の研究開発活動についてのデータがある。この金額は株式を公開・上場する製紙関連企業14社が2020年度に支出した研究開発費用である。その総額は339億1800万円で、前年実績からプラス4%、金額にして13億強の増額となっている。それぞれの企業別にみてもその半数以上の企業が前年実績を上回っている。ただしこれを連結売上にも占める割合で見ると0.58%で、こちらは前期と変わらない。

昨今の世間や世界的な動向を反映して、環境ソリューションを意識した代替素材の提案など環境配慮型製品についての研究開発が一段と加速しつつあるようだ。とりわけ「SDGs」つまり持続可能な開発目標や、近年地球規模の大きな問題としてクローズアップされている「海洋プラスチックごみ問題」による脱プラ・減プラの動きにあわせた取り組みが必須となってきている。これまで培った各企業の開発技術・ノウハウを活かし、目的にかなった環境負荷軽減につながる素材・製品の開発を進める動きが、各企業の研究開発活動からわかる。このほか業界の垣根をこえた他に企業とのコラボにより、マーケットの素早い浸透と訴求力アップを図ろうとする動きも目に付く。

(参照・紙業タイムス)

# 今月の 使用紙

## 紀州上質紙N

今月のTP通信は、北越コーポレーション(株)の『紀州上質紙N』を使用しています。

その第一の特徴は《蛍光染料不使用》です。そのため食品用、医療用、加工原紙等に安心してご利用いただけます。印刷適性にも優れ、伸縮が少ないことから多色オフセット印刷に適しております。

### ■規格

g/m <sup>2</sup>	A判		キク判		B判		4/6判	
	連量	T・Y	連量	T・Y	連量	T・Y	連量	T・Y
52.3	28.5	T・Y	31.0	T・Y	43.5	T・Y	45.0	T・Y
64.0	35.0	T・Y	38.0	T・Y	53.0	T・Y	55.0	T・Y
81.4	44.5	T・Y	48.5	T・Y	67.5	T・Y	70.0	T・Y
104.7	57.5	T・Y	62.5	T・Y	—	T・Y	90.0	T・Y
127.9	70.5	T・Y	76.5	T・Y	—	T・Y	110.0	T・Y
157.0	86.5	T・Y	93.5	T・Y	—	T・Y	135.0	T・Y

# 特別訪問記

# SDGs

近頃「SDGs」という言葉をよく見聞きする機会が多いですが、内容をご存知でしょうか。

今回はこのSDGsについてご紹介しましょう。まずは正しい読みを覚えましょう、「エスディー・ジーズ」が正解です。これは「S」=Sustainable(持続可能)、「D」=Development(開発・発展)、「Gs」=Goals(目標・目的)、直訳ではピンときませんが、「世界の課題を世界で解決するための目標」が本来の意味です。

その歴史は、1990年代に開催された主要な国際会議・サミットで採択された『国際開発目標』、2000年に開催された国連ミレニアム・サミットで採択された『国連ミレニアム宣言』がその起源で、当初はMDGs(ミレニアム開発目標)と言われていました。これは開発途上国向けのもので、貧困国の課題解決を《8つの目標・21のターゲット・60の指標》を定めた取り組みが一定の成果を上げました。しかし当時は民間企業や人々の関心は低く、国や政府機関中心のものばかりでした。そこで2015年の国連サミットで、あらためて2016年から2030年の15年間で達成することを目標に採択されたのがこのSDGsです。しかしこの時点でも世界各国の関心は低く、一般的なものではありませんでした。

ところが2017年のダボス会議で、このSDGsの取り組みが「12兆ドルを超える経済価値」と「3億8千万人の雇用創出」を生むという推計が発表され、SDGsは一躍全世界の注目を集めることになりました。経済的にプラスになるのであればと、政府以外の経済界・民間企業、そして最近では市民レベルでも注目され始めました。

経済的にプラスになることから広がりを見せたSDGsですが、社会的なイメージアップにもつながることから、今やあらゆる階層や業界、地域での活動でも取り入れられています。今年の東京2020オリンピック・パラリン

ピックでもこのキーワードがたびたび登場したのは記憶に新しいところです。

その17の目標と具体的な169のターゲット、さらに細分化された232の指標などについては近頃だいぶ目にすることが多くなってきました。もっともポピュラーなものは四角いタイルが並べられた17の目標でしょう。先進国である日本、そして私たち一人ひとりのまわりにも課題は山積しています。それだけにその役割も大きいということです。この特別訪問記をきっかけに、ぜひSDGsへの理解を深め、自分事として捉えてみてください。

### 【立川紙業の取り組み】

廃棄物の分別・リサイクル、脱プラと紙への転換推進、太陽光発電の導入、LEDやハイブリッド車への切り替え、古切手の寄付、商議所をはじめ地域団体への参加、コロナ禍での雇用の確保、仕事と出産・子育ての両立支援など様々な取り組みを行っています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

